

新年度は すべての組合で 組合新加入者を迎え入れる絶好のチャンス!



さあ4月、新年度の始まりです。多くの職場でフレッシュな新入職員や、異動・転勤などで新たな方を職場に迎え入れる機会があることと思います。

新入職員には もれなく声をかけよう

労働組合の組織率は

17%に低下

厚生労働省の調べで

は、2021年の6月末時点での、労働組合の組織率は16.9%、組合員数は1144万人との事です。

労働組合の数も減少しており、10年前に比べ、約6900もの組合が無くなっています。

そのため、労働組合のない会社に勤務する方、そもそも、労働組合というものを知らない方も、増えているのではないかと思います。

練馬労連加盟組合の組合員の皆さんにとって、労働組合はとても身近で大切なものだと思います。新たな仲間が加われば、活動もより楽しく充実したものになるでしょう。

一人でも入れる組合
「CU東京練馬支部」は
仲間増やし作戦計画中!

練馬労連には、一人でも、どんな職種の方でも加入できる組合「CU東京練馬支部」も加盟しています。

新たな加入者を迎え入れ、活性化を図ろうと、CU東京練馬支部のリーフレットをポスティングすることを会議で決定。

さらには「仲間とのつながりを保つには交流も大事。コロナが落ち着けば一杯やるのもどうか」と、話が弾みました。感染対策を万全にしながら、創意工夫での仲間増やしをめざしています。

ウクライナに平和を!
緊急行動を開催

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し、世界中で反戦の取り組みが行われている中、練馬労連も加わる「核兵器禁止条約の批准を求める練馬連絡会」では、3月6日、練馬駅北口にて「ロシアはウクライナを侵略をやめ、直ちに撤退しろ」「ウクライナに平和を」と声を上げました。道行く人の関心も非常に高く、午後6時から7時までの一時間の行動でしたが、募金が6342円寄せられました。今後も様々な平和希求の取り組みを行います。

コミュニティユニオン
CU東京は
ひとりでも入れる
労働組合です

あなたも
今日から

コミュニティユニオン東京
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館1階
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242
URL <http://www.cutokyo.jp> CU東京 1000
E-mail staff@cutokyo.jp

東京地評/労働相談 0120-378-060

練馬区長候補の

吉田健一さんが決起大会を開催

区長選挙投票日まで3週間余となった3月24日(金)、練馬文化センター小ホールにて、吉田健一さんの決起大会が開かれました。参加者が続々と詰めかけた会場は、早々に超満員でぎっしりに。

開会あいさつの後、昨年衆院東京9区で自公が推す候補を破り議席を獲得した、立憲民主党の山岸一生さんより応援のエール。



区長選に向け熱い抱負を語った吉田さん
3月24日練馬文化センター小ホールにて

「今の区政に必要なのは、一人一人の声をひざ詰めて聞いて、くらしの現場に通って、共に支え合っていく、そういう区政が出来る人。吉田さんは、自然体でいろいろな方に会いに行く。」

その場で時には厳しい事を言われることもあるが、その時、吉田さんは、そうだったので。知りませんでした。教えて頂いてありがとうございます、と云える。

これは、そんなに簡単にできるものではない。政治家は、ものを知らないとか勉強不足と思われたくない、だからつい見栄を張ってしまうもの。吉田さんなら必ず新しい練馬区を作ることが出来る」

と、話されました。

5階の窓からでは 区民の実態は見えない!

練馬労連も参加する「練馬あったかフードバンク」の高坂さんからは、「この活動をやっていて直面したのは政治の冷たさだ。」

練馬区は、生活に困った区民からの相談に、私たちのフードバンクを紹介した。本来、困っている方は、行政がしっかり支えなければならぬはず。

練馬区の責任で、誰もがお腹いっぱい食べられる、安心して暮らせる街をつくらなければならぬ。

今の区長は、5階の窓から、というコラムを書いて、困窮した区民の苦しみ、孤独は見えて来ない。吉田さんは、私たちのフードバンクに視察に来られて、困っ

ている方を命がけて救いたいと言ってくれた。

今、練馬区のリーダーに必要なのは、現場を見て、声を上げられない人の心の叫びを聞き、政策に活かす人。吉田さんをぜひ当選させたい、と語りました。

政治は弱い人のため 胸打つ言葉に万雷の拍手

会場の熱気が最高潮になるなか、吉田健一さんが登壇。「政治は弱い者のためにある。これは私の信条です。この間、何度かフードバンクに伺った。寒い中、100人余が列に並び、ボランティアの方が一生懸命頑張っている姿を見てきた。」

その時、私は注意を受けた。なるべくスーツで来ないでほしい。支援を受けに来る人の中には、スーツの人を見ると、怖がって帰ってしまう人もいるこの事。

私は、そんなことにも気づけなかったのかと、非常に反省した。現場を見なければ分からないとは、まさ

にこのこと。

フードバンクは行政がやっているものだと思っ込んでいた。しかし、話を聞いたら、民間のボランティアさんがやっている。私は、政策に、区長の退職金とボーナスを全額カットする、という公約を掲げているが、これはフードバンクに伺った際に考えた事である。

退職金やボーナスで、フードバンク開催の支援や奨学金制度をつくること出来るのではないか。

これからは、支え合いの時代。練馬区は、みんなで支え合う、そういう温かい区にしていきたい。今回の選挙で、区民が主役の練馬区政を取り戻したい。全力で頑張る」と、力強く決意を表明し、会場は万雷の拍手に包まれました。

各組合に、公示日まで外に掲示できるポスターと、チラシを3月24日発送済みです。支持拡大に活用ください。

練馬労連からのお知らせ...今年のメーデーは5/1(日)代々木公園で開催!みんなで行こう!
詳しくは後日お送りするチラシまたは、練馬労連のホームページをチェック!